

(報道発表資料)

京都文学賞

Kyoto Literature Award

令和6年11月15日
京都市文化市民局

〔担当：文化芸術都市推進室文化芸術企画課〕
電話：075-222-3119
京都文学賞実行委員会

「第3回 京都文学賞」一般部門 優秀賞受賞作 『十七回目の世界』（折小野 和広 著）の刊行

京都市では、文学の更なる振興や「文化都市・京都」の発信等に寄与するため、令和元年度から「京都文学賞」を実施しており、現在、第5回の作品及び読者選考委員を募集しています。

この度、第3回京都文学賞の一般部門で優秀賞を受賞（令和3年度）した「十七回目の出来事」（折小野和広氏）が、書名を『十七回目の世界』に改題し、11月17日に刊行されます。

1 書籍刊行について



十七回目の世界

折小野和広

書名：十七回目の世界
著者：折小野 和広（おりこの かずひろ）
発行所：本屋 lighthouse
刊行日：令和6年11月17日（日）
価格：1,870円（税込）
表紙イラスト：酒井 凜

<コメント>

驚嘆した。小さな駅の周辺に、全宇宙のフシギと奇跡がこめられている。

——いしいしんじ（作家、京都文学賞最終選考委員）

【あらすじ】

「十三時十七分を超えろ」

一九八四年十一月十七日。京都・大山崎地区を襲った原因不明の大きな揺れ。そこにいた者、のちに入ってしまった者らは、ひとりとして帰ってこない。閉鎖されたその地区＝カヤに精神科医・尾上浩一は調査隊の一員として向かう。謎を解く鍵は子供の頃に離れ離れになった弟だった。

○ 著者プロフィール

折小野 和広 (おりこの かずひろ)

1975年、大阪府生まれ。大阪府在住。

関西学院大学社会学部卒業。

2023年、妻が運営する毛糸店「Puolukka Mill (プオルッカミル)」を改装し、大山崎町に本屋を開業。

現在は本屋店主、福祉の仕事のかたわら、小説執筆活動を行っている。大山崎町のミニコミ誌「大山崎ツム・グ・ハグ」にて、エッセイ「このへんの人々」を連載中。

2022年、「十七回目の出来事」で第3回京都文学賞一般部門優秀賞受賞。

